



白聖はくあ 第8号 令和2年12月15日発行



【大学受験について学ぼう】

進路選択では、自分に合った学校を見つけたいもの。でも、行きたい学校についてきちんと調べずに志望校を決めてしまい、入学後に後悔……なんて声もあります。そんなときに役に立つのが、「アドミッション・ポリシー」です。アドミッション・ポリシーについて知ることは学校選びや入試の傾向をつかむ手がかりになります。

《アドミッション・ポリシーとは》

アドミッション・ポリシーは大学進学希望者が大学選択をする際の一助となります。そこで基本的な概要や役割についてお話しします。

アドミッション・ポリシーは、入学者の受け入れ方針をまとめたものです。自学の特色や教育理念を反映した上で「どのような学生を求めているか」という受け入れの方向性が、明確に記載されています。学部・学科ごとにアドミッション・ポリシーを定めていることも少なくありません。大学教育で向上させる力や入学者に求める能力などを、入学希望者に伝えるのがアドミッション・ポリシーの役割です。

とはいえ、アドミッション・ポリシーは入学者の基準を設けるものではありません。高校時代までに身につけておくべき知識に関する記述もありますが、実際の知識・思考力の有無などは入学試験によって審査されます。

したがって、大学のアドミッション・ポリシーを読むことにより、学習意欲がその大学で勉強・研究するにあたり十分なものかどうか、また、その大学で身につけられる能力は入学希望者の目的と合致しているかどうかを知ることができるでしょう。

【アドミッション・ポリシーのチェックすべきポイントは？】

受験生が志望校を決めるにあたって、その大学の情報を収集することは非常に重要です。それぞれの大学には

イメージがありますが、イメージが独り歩きしてしまい、実際の研究内容や教育方針とは異なることも少なくないからです。また、入学してから「希望していた研究ができそうにない」「想像していた校風と違う」といったミスマッチが生じるのを防ぐ意味でも、アドミッション・ポリシーの確認が必要です。とくに次の3つの理由から、受験生は志望校のアドミッション・ポリシーをしっかり確認しておくようにしましょう。

〈確認すべき3つの理由〉

- ①大学の特色や教育理念、何に力を入れているかが分かる
- ②入学後に取り組む研究について方向性をイメージできる
- ③入学試験の方針や出題傾向について知ることができる

アドミッション・ポリシーは各大学が求める学生像を文章にしたものですので、大学の方針や教育理念など、さまざまな思いが凝縮されています。そのため、チェックすべきポイントを押さえ、自分にとってその大学が本当に合っているかどうかを確認できるようにしておくことが大切です。

では、受験生が志望校のアドミッション・ポリシーを確認する際、どのような点をチェックしておいたらいいのでしょうか。とくに次の3つのポイントを押さえ、アドミッション・ポリシーをチェックしておくといいでしょう。

〈確認すべき3つのポイント〉

- ①どのような人物・能力が求められているのか
- ②卒業までにどのような能力を身につけられるのか
- ③入試を通してどんな能力を確認しようとしているのか

アドミッション・ポリシーは、大学としてどのような学生に入学してもらいたいかを示した方針です。これから志望する大学について調査する際には、アドミッショ

ン・ポリシーを忘れずにチェックし、熟読しておくようにしましょう。志望校についてより詳しく知るきっかけになるのはもちろんのこと、入学後に身につく能力や知識をイメージする上で役立つはずですよ。

また、この他にもディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーといったものもあります。

《ディプロマ・ポリシーとは》

ディプロマ・ポリシーとは、各大学が定める「卒業認定・学位授与の方針」です。中学校や高校とは異なり、大学では卒業する際に「学士」という学位が与えられます。学位とは、一定の水準の教育を受け、知識・能力があると認める資格のようなものです。つまり、ディプロマ・ポリシーは、大学側が自信をもって卒業資格を出せる学生の基準であり、教育の質保証といえます。

大学によって、また学部によっても、ディプロマ・ポリシーは異なります。知識・技能だけではなく、倫理観やコミュニケーション能力を卒業要件としている大学や学部も少なくありません。そうした学位授与の方針を事細かに記したものが、ディプロマ・ポリシーです。

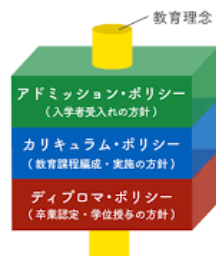
《カリキュラム・ポリシーとは》

カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーを達成するための、教育課程編成・実施の方針として定められます。大学がどのような教育内容をどのような方法で実施するか、そして学修成果をどのように評価するかを具体的に記しています。

(キャリアガーデンより抜粋)

(THE 世界大学ランキング 日本版より抜粋)

自分の進路選択について、自分自身で責任を持って調べていこう。他人任せにしないで「自分事」として行動しよう。



【身につけて欲しい習慣 part①】

① 提出物は必ず期限を守ろう。



提出物は提出して終わり。ではありません。提出してからの始まりです。提出物には必ず担当者がいます。担当者は全員が提出を完了しなければ、次の作業に入れません。もし自分が担当者だとしたら困ってしまいますよね。自分一人の問題ではなく、相手の時間を奪ってしまうことにもなります。提出期限（できれば3日前）までには必ず提出する習慣を身につけていきましょう。

② 用事があるときは朝のHRまでに伝えよう。



皆さんは毎日の始まりをどのように過ごしていますか？多くの人は朝のうちに、その日のざっくりとした日程を確認して、ほどよく予定を立てていることかと思います。さて、相手のことを考えると朝のうちに伝えておくことでお願いされた側は予定を立てやすくなりますよね。また、書類作成や複数の分掌（学年・教務部・生徒指導部・事務部など）が絡んでくるとすぐには用意できません。急用なものでなければ、朝のうちに伝える習慣を身につけていきましょう。

③ 短期・中期・長期で計画を立てよう。



短期（1週間単位）・中期（1学期単位）・長期（1～2年単位）ごとに、何となくで構わないので先を見通して計画を立ててみましょう。その時に便利なものが、年間行事予定・月間行事予定やスケジュール帳・スケジュールアプリなどです。見通しや目標を立てることで、毎日の過ごし方にメリハリが出てきます。部活動・各教科の勉強・プライベートな時間など大忙しの高校生だからこそ、ざっくりと計画を立てる習慣を身につけていきましょう。

④ 時間と約束を大切にしよう。



やるときはやる。休むときは休む。それぞれの時間をその時々に合わせて、優先順位をつけて大切に過ごしてください。また、人との約束は些細なことでも極力守りましょう。約束を守るということは社会に出てからも最も重要なことです。約束を守ることは他者を大切にすることです。「すみません」ではなく「ありがとう」が行き交う高校生活にしよう。